

徳大卒業生 就職活動体験記

名前：呉啓迪（ゴ ケイテキ）

出身：中国

学歴：徳島大学総合科学部（2022年度卒業予定）

会社：大塚倉庫株式会社（東京）

仕事内容：未定（研修後に決定）



（1）私が日本企業に就職しようと思ったきっかけは？

日本のゲームやアニメ文化が好き、平均賃金が中国より高い、より良い社会福祉保障制度やより合理的で平等な昇進機会があるなど、日本で働きたい理由はたくさんあります。ただ、私が日本での就職を決意したのは、「日本では弱者の視点から就職を支援する体制が整備されていることに気づいた」からです。ある日受け取ったメールに「外国人・外国人留学生に有償で仕事を斡旋している人や会社がいたら、速やかに関係機関に連絡してください」という内容が書いてあり、私はとても驚きました。普通、求職者は相対的に弱い立場にあり、金をだまし取られたり、利用されたりするものです。外国人の場合はさらに不利になります。それを事前に認識し、助言し、立場の弱い人々を保護しようとしている点に、とても感心しました。私は、日本のように立場の弱い人々を思いやる環境で働きたいと思いました。

（2）就活で苦労したこと&成功したポイント：

最初、就活をはじめてもなかなかうまく行かなかったのですが、その原因は2つあると思います。1つ目は「準備不足」です。企業の選考を受ける前には、まずその企業に対する十分な情報収集が必要です。そして何よりも、頻出の面接問題の答えを事前に用意しておくことが大切です。気まぐれに、自分が言いたいことだけを話してはいけません。まず、基本的な答えを用意することが大切です。もう1つは「面接で緊張しやすい」ことです。この課題には、積極的に就活指導の先生と相談・雑談することが有効でした。まず、自分よりも地位の高い人と話すことに慣れることができますし、面接で起こりうる状況を予行演習し、それに備えて準備することができます。雑談によって臨機応変に対応できる力を鍛え、未知の状況に対する処置能力を高めることで、面接でもっと余裕を持てるようになりました。

（3）これからの就活に向けたアドバイス：

早めに就職活動を始めることです！早期に就職活動を始めるとインターンシップに参加する機会が増えるので、たとえ自分が目指す職業や業界がなくても、企業の説明会やインターンシップをとおして各業界が実際にどのように動いているのかを実際に知ることができます。このような機会が早ければ早いほど、後々これらの企業の選考に参加する際に有利になります。目指す職業やターゲット業界があれば、より早くインターンシップに参加することで、実際の仕事の状況を知ることができ、自分に合うかどうかを知ることができます。また、同職種や同業種企業間の違いを比較して自分に最適なところを見つけることも可能になります。できるだけ早く就職活動をはじめ、インターンシップに参加しましょう！